

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年2月18日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671500082
法人名	有限会社 さくら商事
事業所名	グループホーム 吉田さくらの里
所在地	鹿児島県鹿児島市東佐多町2060番地 (電話) 099-295-2422
自己評価作成日	平成30年12月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成31年2月5日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・両棟を囲んだ広い中庭があり、天気の良い日は両棟の交流を図りながらお茶、食事、外気浴、散歩、レクリエーションなどを楽しんで和気あいあいと穏やかな時間を過ごしております。庭の隅に畑を作り、草むしりや水まきなど手入れをしながら野菜作り、収穫、調理、食事までと共同生活を楽しんでいただけるよう支援しております。

・小中学校、地域の行事、清掃活動への参加、ボランティア実習生の受け入れ、講師による音楽療法も行っております。

・ホームの理念として「この家で、共にくつろぎ、共にやすらぎ、地域とふれあいのある暮らし」を目指し、地域の方々の協力を頂き地域の中で安心してその人らしく暮らすことができるよう支援しております。また、ご利用者やご家族が望む「人生の最期」を可能な限り慣れ親しんだ環境で安心して過ごせるようにご家族や主治医、看護職、介護職で連携をとりながらサポートさせて頂いております。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当事業所は2ユニットで、両棟の行き来や中庭でのお茶飲みなどを楽しんでいる。周辺には民家も多く、散歩の際には地域住民と挨拶や会話をしたり、野菜の差し入れなどがあり、地域と親しく交流している。

・かかりつけ医との連携や看護師の配置が充実し、訪問看護との連携も図り、緊急時の対応などの適切な医療が受けられるよう支援している。

・運営推進会議が充実しており、避難訓練にも参加して貰っている。参加者からの提案や意見などを災害時の安全な避難や感染症対策などにも反映している。

・管理者は職員が働きやすい環境作りに配慮し、職員の意見や提案を積極的に取り入れている。出された提案の一つで、おむつの当て方でおむつの使用を減らすケアの改善に努めている。職員は勤務年数も長く、職員間のコミュニケーションも良い。

・外出支援の計画を多く取組み、利用者や家族に喜ばれている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念はいつでも見える所であり、合同ミーティングで復唱し意識付けを徹底している。	理念をリビングに掲示し、職員会議で唱和し確認している。年間目標を設定しケアの振り返りを行い、ミーティング等で、掘り下げて話し合い、理念を共有し実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の敬老会やイベント、奉仕作業等、積極的に参加している。	運動会や敬老会・文化祭などの地域行事に積極的に参加し、事業所の春祭りや避難訓練・餅つき等にも多くの地域住民や家族の参加がある。中学生の体験学習や看護学校の実習生・ボランティアの受け入れなども行っている。ちまきや炊き込みご飯を地域の人々に届けるなど、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の研修、会合に関わり、交流会、推進会議などを通じて認知症ケアの啓発に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議を定期的開催し、ご利用者の状況・活動報告を行い質問や意見、要望等を受け話し合い積み上げていくようにしている。</p>	<p>会議は定期的開催している。事業所の状況やテーマを決めての研修、外部評価の報告などを行い、参加者からも多くの助言や提案がある。川の水位によっては、待機場所や避難経路を検討し、訓練に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>推進会議等に参加していただく事で協力関係を築くようにしている。またご利用者の担当の方へ連絡・報告を行っている。</p>	<p>市の担当者とは出向いて報告等を行い連携を図っている。運営推進会議を通して協力関係もできている。毎年介護相談員を受け入れ、市主催の研修会にも積極的に参加して情報交換に努めている。生活保護担当者とも密に連絡し合っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>ミーティング、合同会議等で外部研修報告し勉強会を行い、様々な方法で身体拘束に繋がらないケアを行っている。</p>	<p>身体拘束廃止委員会で、外部研修や3ヶ月毎の内部研修で事例や課題に基づいた勉強会を実施している。身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉による拘束についても配慮している。日中の玄関の施錠はせず、見守りや同行など職員間の連携で安全な暮らしを支援している。地域の見守りもある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修に参加しミーティングで勉強会を行い、情報や知識を共有する事で防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	対応が必要と思われるご利用者が居い場合は説明、アドバイスをしながら支援を行うようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居前や変更時等に利用料金やリスク、重度化、看取りについての対応や医療連携体制等の説明をしご理解と同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者やご家族のご意見、ご要望はミーティングなどを通して把握し、面会時、お便りでお伝えすることで反映している。	本人には、介護相談員との面談や足浴時等にゆっくり話を聞いている。家族には、運営推進会議や年2回の家族会・アンケート・面会時に要望等を聞いており、出された意見で毎月発行の新聞の写真や文字を大きくしたり、照明をLEDに取り変える等、意見を反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月のミーティングや業務時などいつでも職員より意見が出せる環境作りに努めている。また、その都度話し合いの機会を設けている。</p>	<p>月1回の合同会議で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。提案により、おむつの当て方などケアの改善や質の向上に反映させている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の努力や実績などを積極的に把握し働きやすい環境整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修の参加を促し、研修報告をミーティングで行っている。他事業所との交流も積極的に参加するなど職員が学び考え働く環境作りに努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会などに参加しており同業者や他職種との交流を行っている。情報交換を行う事でサービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者やご家族からの話を良く聴き不安を取り除くことにより相互理解を深め、関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が何に困り、何を求めているのか話をよく聴きホームでどのような対応ができるのか事前に話し合いを行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の思いや現状を考慮して、必要なサービスに繋がるように対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の思いを聴いて共に支えあえるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご利用者の日頃の様子や気付いた点などをお便りや新聞で伝えたり、話し合う事でお互いの協力関係ができるようになっていく。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご友人や知人、親戚等の面会時などはゆっくりと話していただけるよう支援している。	家族・知人等の面会は、気軽に来てもらえるよう雰囲気作りをしている。自宅付近へのドライブや馴染みの店での外食に同行したり、家族との外出時に送迎を協力する等、関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者同士の関係がうまくいくようスタッフが情報を共有しご利用者同士が孤立しないよう関係作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用期間終了後もお家族からの相談にのったり継続的な支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族からも情報を頂き日頃の声かけなどで把握に努めている。	日々の関わりの中で声をかけ、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。困難な場合は家族や関係者からも情報を得、利用者の視点に立って職員で話し合い、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の情報シートやご本人やご家族からの情報収集で把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活リズム等を把握した上で支援を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族の意見をうかがいスタッフでモニタリング、カンファレンスを行い、その方に添った介護計画を作成している。	本人・家族・関係者の意向を確認し、担当者会議で話し合い、介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日細かく記録し変化や気づきをスタッフ間で共有し介護計画の見直しに役立てている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>緊急対応や時間外など柔軟な対応をしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>安心して暮らしていただけるように消防、警察、民生委員等と連絡を取り合い、ご本人が不安なく生活できるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人やご家族の意向をお聞きし、納得した上で定期的な往診や突発的な受診等も受けられるよう支援している。</p>	<p>かかりつけ医は本人や家族の希望を取り入れ受診している。往診や歯科は月2回の訪問診療で対応している。他科受診は主に事業所に対応している。受診結果はそのつど家族に報告している。緊急時の対応などは連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護職がいつでも看護職に相談しながら対応できるようにスタッフを配置し、連携しながら支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院が長期化しないように医療機関と定期的に連絡を取り合い情報収集を行い早期退院に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ご本人やご家族の意向に添った支援を医療機関や事業所、介護、看護スタッフのチーム全員で行っている。</p>	<p>重度化等の場合の対応について指針があり、契約時に説明し同意書をもっている。状況変化に伴い段階的に本人や家族・医師・看護師等で話し合い、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。必要時には、訪問看護との協力関係もできている。看取りの事例もある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>勉強会を開いたり、心肺蘇生法の研修に職員全員が参加し急変時や事故発生時に対応できるよう取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害時のマニュアルを作成し、年に2回の総合防災訓練の実施、年に4回の自主訓練を通して消防、地域と連携体制を整えている。</p>	<p>マニュアルをもとに年2回総合防災訓練を、自主で年4回の昼夜想定避難訓練を実施している。運営推進会議を兼ねて年1回実施している。スプリンクラーや緊急通報装置も設置し、緊急連絡網に地域住民も登録され、地域との協力体制もできている。非常用の水・カップ麺・レトルト食品がある。衣類や避難用品などの備蓄もある。地震やがけ崩れ対応の訓練を検討中である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員全員が自覚を持ち、日々の関わりを行うよう努めている。また、ミーティング時に勉強会を行い対応の徹底を図っている。	マニュアルに沿って研修を実施し、入室時のノック、入浴やトイレ誘導などでは羞恥心に対する配慮を行っている。同性介助の対応もしている。誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけをしないケアに取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者がご自分で決められるよう日々の関わりの中で希望を聞くなど支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者の状態や体調、希望などをお聞きし、柔軟に対応できるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご本人の好みや希望に添った支援ができるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者の食べたい物を聞いてメニューに取り入れている。また、野菜の皮むきなど出来る事をお手伝いしていただいている。	献立は職員が好みを聞いて作成している。個々に応じた食事形態で提供し、下ごしらえや片付けを職員と一緒にしている。誕生日には希望を取り入れた食事や季節の行事食・弁当持参でのピクニック・外食等、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取状況を毎日チェック表に記入し、職員が情報を共有し、場合によっては栄養補助食品なども活用している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事前嚥下体操をし毎食後の口腔ケアはできないところはお手伝いしお一人お一人に合った口腔ケアで清潔を保っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用することでその方の排泄パターンを把握し、声掛けや時間での誘導を行っている。	排泄チェック表で排泄のリズムを把握し、必要に応じての声かけで、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。排泄用品は個々人に合わせて対応している。布パンツに改善された事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品などを摂っていただいたり、体操やレクリエーションで体を動かしていただく事で、なるべく自然排便ができるよう支援している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	ご本人の希望をお聞きし、体調をみながら安全に入浴できるよう支援している。	入浴は基本的に週3回であるが、個々人の体調や希望にそって柔軟に対応している。必要に応じてシャワー浴や足浴・指浴をしたり、保湿クリームを塗布している。入浴剤を使うなど、入浴を楽しめるように支援している。入浴を拒む利用者には声かけや時間調整など職員間で連携して、状況改善に努めている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を促し就寝時に穏やかに休めるよう支援している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬ファイルを作成し薬の内容を把握出来るようにしている。飲み忘れや誤薬予防の為、ダブルチェックを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>ご利用者の得意な事や出来る事をお聞きし、していただいている。していただいた後は、感謝の言葉を伝えるようにしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>季節や地域の行事等その時々状況に応じてご利用者の希望を聞きながら外出支援を行っている。移動の際も安全に配慮して行っている。</p>	<p>日常的には周辺の散歩や買い物・中庭での外気浴や茶飲みをしている。年間計画で、初詣や花見・ピクニック・ソーメン流し・地域行事など、積極的に外出支援をしている。家族の協力で外食・墓参などに出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族からお金を預かり外出時や買い物時にご本人に支払いをしていただいている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご利用者の希望を聞き電話を掛けてさしあげたり、はがき等を書いていただく等して支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花や飾りの色、匂い、手触り等に配慮し、季節感を感じて、穏やかな生活が送れるよう支援している。	共用の空間は広く、採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。壁には利用者の作品や写真を貼付し、季節感を大事にした花や飾りつけをしている。手作り神社を壁に作って雰囲気作りをしている。車椅子利用者が行事の写真など見やすい位置に貼付し、ゆったりしたソファで居心地よく過ごせるように工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご利用者同士の関係性に配慮し、テーブル、椅子、ソファの配置など工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれのご利用者の好みやなじみの物等生活スタイルに合わせ用意し、その人らしく生活できるよう支援している。	電動ベッドとタンスのある居室に、本人の好みに応じ、使い慣れた鏡台や衣装箱・洋服掛け・仏壇等を置いたり、写真やぬいぐるみを飾り、本人が安心して過ごせるように配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	情報を職員で共有し、自立を促すことで支援している。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない